



# 与野西北小だより

12月号

令和5年11月30日

学校経営方針【みんなでつくる みんなの与野西北小学校】

児童会スローガン【 せ・い・ほ・く だ・い・す・き 】

～「輝く瞳に夢いっぱい」な学校を子ども・家庭・地域と協働・連携してつくりましょう～

【学校教育目標】 ◇みんなと協力する子（徳育） ◇自分の力で考える子（知育）  
◇心身ともに健康な子（体育） ◇人との関わりを大切にする子（響育）

与野西北小学校TEL853-0109 ホムパヅアドル http://yonoseihoku-e.saitama-city.ed.jp/

## 言葉の力と4つの言葉

校長 馬場 智哉

短い秋が終わり、一気に真冬の寒さとなりました。早いもので本年も残すところあとひと月。スポーツフェスティバルや校外学習、修学旅行、西北フェスティバル等の大きな行事も終わり、児童が躍動した2学期も残りわずかです。保護者の皆様、地域の皆様には多大なる御支援、御協力をいただきましたこと、改めて感謝申し上げます。

さて、突然ですが私は山形県出身です。小学生の頃、凧揚げ大会、町内対抗野球大会、芋煮会等々、地域主催の様々な行事に参加しました。当時のことが、よき思い出として今でも懐かしく思い出されます。当時を振り返ると、自分は両親や友だちだけでなく、地域の方々に支えられ今があることに気が付きます。それと同時に、心の中に湧き上がる苦い思いは、「あの時、お世話になった方々に感謝の気持ちを伝えることができていたのだろうか？」ということです。子どもたちには「心を潤す4つの言葉」の大切さを伝えてきましたが、当時の自分は有難さに気付かず、当たり前なことだと勘違いし感謝の気持ちを伝えられていなかったのではないだろうか。子どもたちには、多くの方が支えてくださっていることを自覚し、私のように、後悔の念をもつことがないようにしてほしい、そんなことを考えるのです。

さいたま市では、コミュニケーションの基礎となる「心を潤す4つの言葉」を推進し、児童生徒・教職員・保護者・地域の方々が、積極的に気持ちのよい挨拶や返事、心をこめた素直な言葉を交わすことによって、一人ひとりの心が通う学校や地域づくりを目指しています。また、今年度は「いじめ防止シンポジウム」において、市内の小中学校児童生徒代表で作る「さいたま市子ども会議」が考案した「心を元気にする4つの言葉」も公表され、各校にポスターが配布されました。



言葉は、時に人を傷つけ苦しめます。一方、暗く落ち込んでいた心に一筋の陽の光を差し込ませ、勇気づけてくれる力があります。言葉を交わしている当事者だけでなく、その周囲の雰囲気をも暗くしたり、明るくしてくれたりもします。

皆様には、「心を潤す4つの言葉」「心を元気にする4つの言葉」について御理解いただくとともに、子どもたちが他者の心を潤し、元気にする言葉の使い手となるように、学校・家庭・地域が一体となって4つの言葉を推進していきたいと考えております。

年間の生活目標：気持ちのよい言葉で話そう
12月の生活目標：学校をきれいにしよう
安全点検の結果：11月の安全点検の結果、異状ありませんでした。



### 【校長室より①】

10月31日(火)さいたま市文化センターにて小中合同音楽会が行われ、与野西北小学校からは4年3組が代表として出場しました。15の小中学校が集まり開催された音楽会、与野西北小4年3組はプログラムNo.7でした。曲目は「マジックアイランド」「生命が羽ばたく時」の2曲です。いよいよ4年3組の出番が来ました。緊張している様子も見受けられましたが、練習の成果を発揮してきれいな歌声を大ホールに響かせてくれました。私はビデオ撮影をしていましたが、そのことを忘れて聴き入ってしまい、慌ててファインダーをのぞきました。4年3組の皆さん、素敵な歌声と感動をありがとうございます！

### 【校長室より②】

10月30日(月)31(火)の二日間、八王子中生徒会と本校代表委員による合同挨拶運動が行われました。さらに今回は地域の皆様にも御参加いただき、いつも以上に元気の挨拶が響き渡りました。八王子中学校の生徒が「小学生が元気に挨拶を返してくれるから気持ちのよい挨拶運動になった」と感想を述べてくれました。また、児童会の子どもの意見で二日間、延長して代表委員児童による挨拶運動を実施してくれました。生徒会の皆さん、児童会の皆さんありがとうございます。1秒で人の心を元気にしてくれる魔法の言葉をこれからも大切にしていきたいと思います。



### 【校長室より③】

11月9日(木)に2年生が遠足で、川口グリーンセンターに行ってきました。ワクワクしながら迎えた当日朝、昇降口前には子どもたちのキラキラした笑顔があふれていました。午前中はアスレチックなどで元気いっぱい遊び、昼は楽しみにしていたお弁当とおやつ。午後は芝生の広場で友達と元気いっぱい鬼ごっこやだるまさんが転んだなどをして遊びました。一緒に遊んでいた職員は体力の限界、ヘトヘトになっていましたが、児童はそれでも遊び足りないような表情をしていました。



### 【校長室より④】

11月18日(土)西北フェスティバルが行われました。3年生以上は各クラスで、射的やボーリング、ブラックボックス、フリースロー等のアトラクションを準備し、1年生は水彩画、2年生は生活で作成した動くおもちゃを展示してくれました。前半と後半に分かれ、6年生と1年生、5年生と3年生、4年生と2年生でペアを組み、各アトラクション等を楽しみました。思考を凝らしたアトラクションはとても楽しく、低学年の作品は心を和ませてくれました。4~6年生の児童が、優しい表情で視線を合わせながら下級生を気遣う姿がとても素敵でした。開閉会セレモニーを運営してくれた計画委員の皆さんもとても立派でした。与野西北小学校の中がますます深くなる西北フェスティバルだったのではなかと思います。



また、午後にはPTA主催の謎解きゲームが行われました。多くの児童が友達と、または親子で校内に用意された謎解きに挑戦しました。私も挑戦し、楽しい時間を過ごすことができました。翌週月曜日の朝、正門に立っていると5年生の男の子の「おはようございます。土曜日の謎解き楽しかったです！」という声が響きました。児童のために御尽力いただき、子どもたちに楽しいひと時をプレゼントして下さったPTAの皆様、ボランティアで御協力いただきました皆様に改めて感謝申し上げます。



また、イベント前に、ウインド・アンサンブルが素敵な演奏を披露して場を盛り上げてくれました。ありがとうございます。



